

これからの時代に求められる教育の解説図

これからの時代に求められる教育

幼稚園教育要領・小・中・高学習指導要領の前文より

自分のよさや可能性を認識、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる。

これからの時代に求められる教育

自分のよさや可能性を認識、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる。

②


- 自分のよさや可能性を認識、
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる。

①これら上記でダウンロードできるパワーポイントファイルの画面を解説していきます。まず、「これからの時代に求められる教育」の文言です。如何ですか。これから幼小中高の学校教育としてどのような教育が行なわれるか実感として浮かびましたでしょうか。何度も読み直したり文を区切って読んだり工夫するとやっとなんて見えてきます。その見えたものをどのようにしたら皆さんに伝えることができるかを考えて、図にすることを思いつきました。

②これは一続きの文章ですが、まず3つの部分に分けて見ました。最初が“個人”、次が“自分と他者”、最後が“得る力”ということがわかります。次から、文節を示しながら、その文節を“図”で表していきます。


これからの時代に求められる教育

- **自分のよさや可能性を認識**
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる



これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- **あらゆる他者を価値のある存在として尊重し**、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる



③まず「自分のよさや可能性を認識」です。ひとりの人を描きました。自分のよさや可能性を認識する子供ですから、その子供を取り巻く環境がそのような状況にあるかが問われるところです。

④次は「あらゆる他者を価値のある存在として尊重し」です。人の周りにたくさんの人を描きました。“あらゆる他者”ですから、それを色々な色で表しました。“あらゆる他者”ですから家族・級友・先生・地域の皆さんなど、学習指導要領前文最後には「……教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家族や地域の人も含め、様々な立場から児童（生徒）や学校に関わる全ての大人に期待される役割」とも記述されています。学習する場に“あらゆる人々がいる”ということです。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え**
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる



これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる



⑤次は「多様な人々と協働しながら」です。みんなで飛び跳ねている図を描きました。“協働する姿”です。学習の中で“あらゆる人々と一緒に協働する”ということです。つまり“地域学校協働活動（地域の皆さんと学校と一緒に活動）”が行なわれます。この活動の中で、子供たちは自分一人では得ることのできないたくさんの学びをすることでしょう。人と人の“つながり”もその一つです。また、ある人とつながることで、人生が変わるほどの影響を受けることも考えられます。

⑥次は「様々な社会的変化を乗り越え」です。みんなで山を乗り越える図を描きました。学習の中で、それぞれの地域の“社会的変化”（科学技術の発展・気候温暖化・少子高齢化・人口減少・AIの普及により労働環境や生活環境の変化・地域教育力の低下……etc）を教材として、研究的に学んで“乗り越える”学習をします。こどもの身の回りには、もっと身近な超えるべき課題がたくさんありますから、それを教材とすれば、実際の体験として“協働して乗り越える”学びも考えられます。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- **豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる**

⑦次は「豊かな人生を切り拓き」です。個人が舞っている姿を描きました。ひとりが舞っていますが、子供の一人一人が舞っているということです。「生きる力」を身に付けた姿と考えてもいいと思います。これまでの「生きる力」とこれからの学校教育で身に付く「生きる力」の違いが大切なところではないかと思えます。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- **豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる**

⑧次は「持続可能な社会の創り手となる」です。人々が舞っている、つまり社会が舞っている図を描きました。「社会の創り手となる」ということは、学校教育の中で社会的変化を乗り越える体験学習をすることで身に付く力です。学校を卒業してから、大人として生きていく中で、地域のことを考え、社会的変化を地域の皆さんと協働して乗り越える力として発揮されます。持続可能な社会の実現は一朝一夕になされるものではありません。この教育が推進され、学校で学んだ園児児童生徒が社会人となり、社会の創り手として生きていく中で、しだいに舞き始めて長い時間をかけて実現されるものです。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

□ 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有

⑨これまで描いたものを一連の図として並べてみました。これが「これからの時代に求められる教育」です。幼・小・中・高の学習指導要領に記述されたということは、これらの校種でこの教育が全国展開で行なわれるということです。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

□ 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有

⑩次に、学習指導要領前文には「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という記述があります。この一連の図の赤のアンダーラインで示したところが「よりよい学校教育を通して」という部分です。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

□ 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有

⑪青のアンダーラインで示したところが「よりよい社会を創る」という部分です。

これからの時代に求められる教育

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

□ 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有

⑫「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という意味がこのことによりわかります。「この理念を学校と社会が共有する」ということは、学校関係者だけでなく地域の皆さんにも知ってほしいということです。これからの学校教育は、先生だけではなく子どもの周りに様々な人々がいて、その人々と協働して学習していきます。これから訪れる未知の社会的変化を協働することによって乗り越えるのです。そして人生を切り拓く力と社会の創り手としての力を身に付けます。更に10年20年……と生きていく中で、持続可能な社会を自らの手で創っていくこととなります。

ですから、この教育には「多様な人々に学校教育に参画してもらうことが不可欠です。まず、広く地域の皆さんに対して説明会をして「この地域の子どもたちを育てる学校教育には皆さんの力が必要です。子ども自身の豊かな人生を切り拓くだけでなく、この地域の将来を考え地域づくりに取り組む子どもが育ちます。力を貸してください。」と理解してもらう必要があります。そして、賛同した皆さんとともに学校教育が行われることとなります。学校は、これを具体的な教育課程として計画する準備が必要です。それを前文では「社会に関わった教育課程」として記述されています。